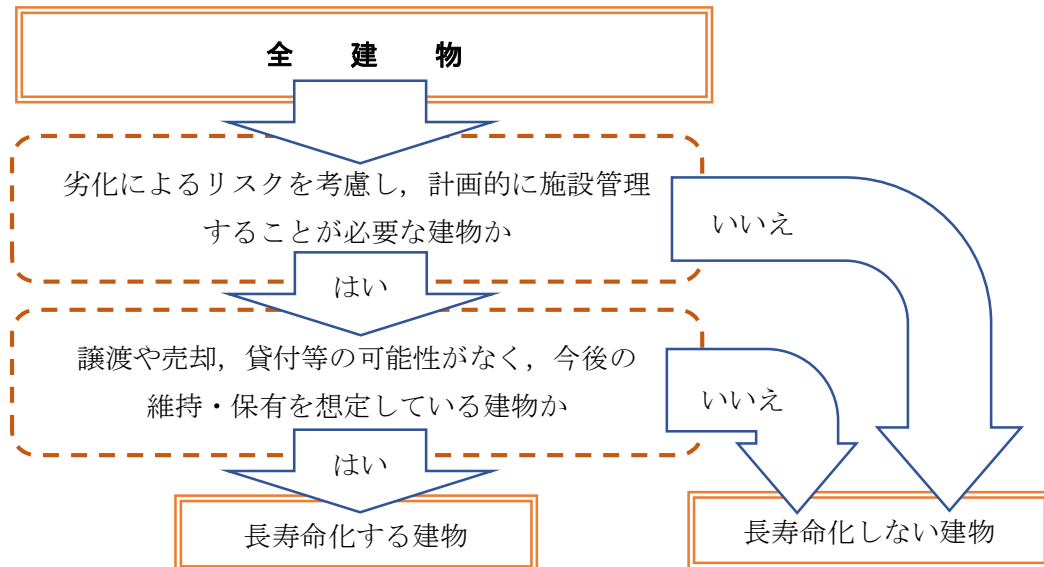


①これからの公共施設について 第4回 -取組1 長寿命化-

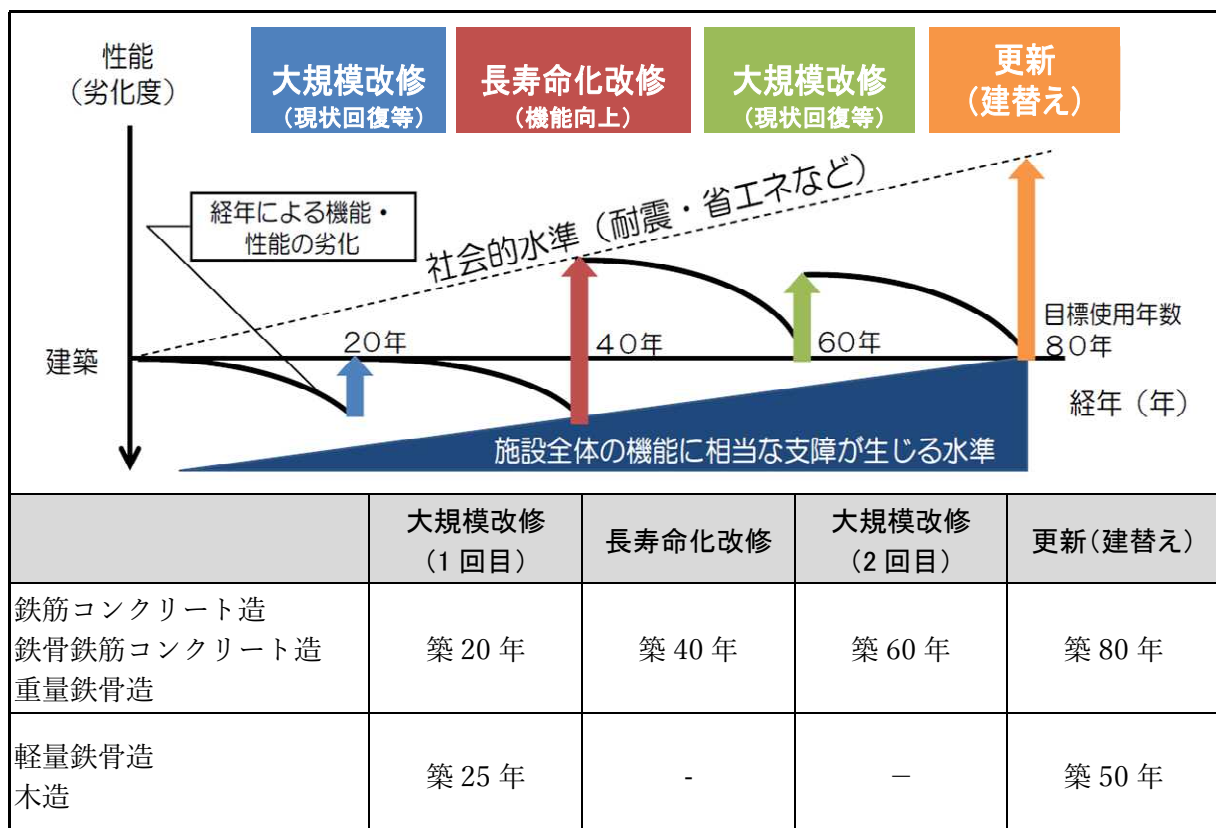
今回は、施設の長寿命化について紹介します。

建物は時間が経過すると、壊れたり不具合が起こりやすくなります。定期的な点検や調査を行い、不具合が起きる前に予防的な改修をし、より長く利用していくことを長寿命化といいます。

○長寿命化建物の選定手順



○長寿命化における改修・更新時期の設定



※参考：建築物（鉄筋コンクリート造）の耐用年数は、50年～65年です。

次回は、施設の複合化について紹介します。

問 資産経営課（内線 573）